

JFMAウィークリーセミナー

【WS0437】2014年 4月 9日 開催

[ファシリティマネジメント入門]

ーFMの基本を知る。FMの素晴らしさを知るー

講師: JFMA 常務理事・事務局長 成田 一郎

<概要>

これからFMに取り組んでみたい方、FMは範囲が広くて分かりにくいという方、あらためてFMの全体像を描いて頭の整理をしたい方などFM初心者のための入門講座でした。「FMとは何か」から始まり、「総解説 ファシリティマネジメント」を概観し、全体構成からその内容のポイントをお話し頂きました。

さらに書籍「第四の経営基盤」をベースにしてFMの全体像とFMの業務についてお話頂き、FMのおもしろさ、素晴らしさも実感できました。

坂本春生会長の作成した「卓上のリンゴ」の解説から始まり、あらためて日本では、「人材」「資金」「情報」はマネジメントしているが、「ファシリティ」をマネジメントしないこと、それによりいかに損失を被っているか理解できました。

最近のインフラ関連の事故でも、日本全体がつくることばかりに夢中で、できた後のこと、その全体最適のマネジメントの未熟さを感じる内容でした。ややもすると、FMの具体的な手法や技術に目が行ってしまいますが、初心に帰り全体を俯瞰すると、FMは人々や組織や社会をいかに幸福にするか、FMのミッションはまさにここにあるということを感じるセミナーでした。(稲田祥)

ファシリティマネジメント(FM)導入のおすすめ-卓上のリンゴ-

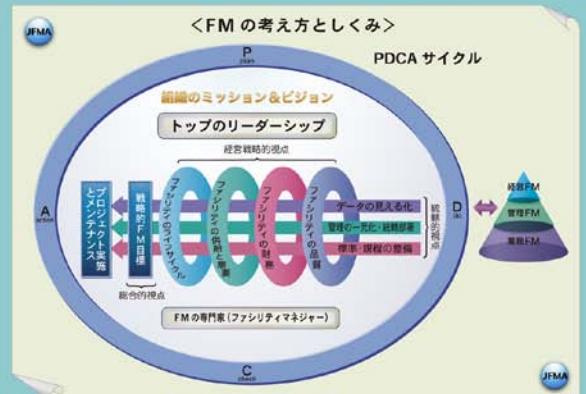
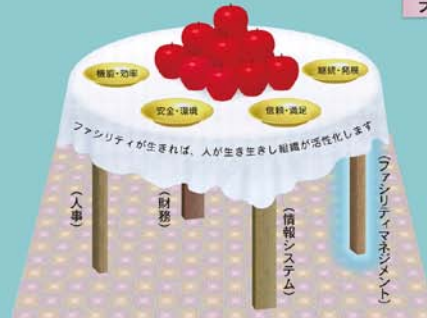
我国経営のFM導入の遅れ

テーブル(経営)を支える脚(経営資源)の1本(ファシリティ)がひ弱くて折れかけ、テーブルが傾きリンゴ(経営果実)は安定せず、こぼれ落ちていませんか。



戦略的FMの導入は、経営革新に残されている最強の切り札!!

病んでいる脚をFM導入でしっかり包んで健全化し、テーブルを安定させ(経営基盤の強化)リンゴを次々と盛り続ける経営が出来ます。



JFMAウィークリーセミナー

【WS0438】2014年 4月23日 開催

[FMを流行から考える]

ーFMの過去から現在までの流れで全体像を知るー

講師：JFMA常務理事・事務局長 成田 一郎

日本にFMが紹介され30年近く経とうとしています。その時代時代に流行のように取り上げられたテーマや手法・技術があります。それらのいくつかの例をフラッシュ的に取り上げながら、それにまつわるエピソードや事例などを紹介されました。

まず、『最も力の強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるのでもない。唯一生き残るのは、「変化」に対応できる者だ』とダーウィン「種の起源」での考え方から始まり、自ら変化に対応していく気概の大切さを述べ、FMの10のキーワードをもとにそれぞれ今求められているFMは何か、そして今後へのヒントを述べました。

10のキーワードは、1.ワークプレイス、2.現状把握(CAFM)、3.グローバル化、4.安心・安全(災害対策)とBCP、5.長寿命化、6.ライフサイクルコスト、7.地球環境、省エネ、節電、8.満足度・ホスピタリティ、9.公共FM、10.インフラ老朽化です。

最後の締め言葉では、「FMは進化、深化しています。今こそ皆様が真価を発揮するときです」と相変わらずのダジャレの締めでした。(稲田祥)

FM象・像！？

